

# 施策分析シート（平成29年度）

No1

<b>施策名</b>	青壮年期の健康増進	<b>施策No</b>	01-01	<b>部課名</b>	健康部健康推進課		
				<b>課長名</b>	関 内線 429		
<b>関連部課名</b>	健康部保健予防課						
<b>行政評価 事業体系</b>	<b>分野</b>	生涯健康都市					
	<b>政策</b>	01	生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現				
<b>目的</b>	心身の健康は幸せな人生の礎であることから、健康的な生活習慣が形成されるよう、若いうちからの健康づくりの重要性を普及啓発し、生涯にわたり健康で充実した人生を送ることができるよう支援を行う。						
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		26年度	27年度	28年度			
	運動の実施度	3.25	3.28	3.15	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？		
	健康的な食生活の実感度	3.39	3.42	3.38	健康的な食生活を送ることができていると感じますか？		
	体の休息度	3.29	3.31	3.27	体を休めることができていると感じますか？		
心の安らぎの実感度	3.53	3.56	3.51	心が安らく時間を持つことができていると感じますか？			
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)
	健康状態がよいと感じる区民の割合	40.40	41.90	39.10	40.0	50.0	GAH調査
	健康寿命（男性）	80.22	80.30	-	80.60	81.0	65歳健康寿命（65歳の平均自立期間に65を加算した数値）
	健康寿命（女性）	82.53	82.56	-	82.60	83.10	65歳健康寿命（65歳の平均自立期間に65を加算した数値）
	早世指標（男性）	95.19	95.70	88.12	87.00	80.00	40～64歳の死亡で全国(平成12年)を100とした場合の数値
早世指標（女性）	91.65	88.00	73.50	73.00	70.00	40～64歳の死亡で全国(平成12年)を100とした場合の数値	

（単位：千円）

<b>行政コスト計算書</b>	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	
	<b>行政費用</b>	給与関係費		261,404		<b>行政収入</b>	地方税等		0
		物件費		236,817			国庫支出金		240
		維持補修費		0			都支出金		27,980
		扶助費		0			分担金及び負担金		0
		補助費等		10,891			使用料及び手数料		4,044
		減価償却費		8,988			その他		115
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0			行政収入合計(a)		32,379
		賞与・退職給与引当金繰入額		48,600			行政収支差額(a)-(b)=(c)		534,321
		その他行政費用		0			金融収支差額(d)		0
行政費用合計(b)			566,700		通常収支差額(c)+(d)=(e)			534,321	
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		534,321			
<b>貸借対照表</b>	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	<b>勘定科目</b>	27年度	28年度	差額	
	<b>流動資産</b>	収入未済		0		<b>流動負債</b>		12,685	
		不納欠損引当金		0			還付未済金		0
		その他の流動資産		0			特別区債		0
	<b>固定資産</b>	有形固定資産		0		賞与引当金		12,685	
		土地		0		その他の流動負債		0	
		建物		0		<b>固定負債</b>		167,332	
		建物減価償却累計額		0			特別区債		0
		工作物等		0			退職給与引当金		167,332
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
無形固定資産			33		負債の部合計		180,017		
建設仮勘定		0		正味財産		139,269			
その他の固定資産		40,715		正味財産の部合計		139,269			
資産の部合計		40,748		負債及び正味財産の部合計		40,748			

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>アンケートの結果によると、健康状態が良いと感じる区民の割合は約4割となっている。前期基本計画策定時（平成18年度）と比べ、健康寿命、早世指標ともに改善傾向となっている。</p> <p>一方で、糖尿病が重症化し人工透析が必要な患者の数は増加傾向となっている。がん検診の受診率は改善傾向にあるが、国が示したがん検診受診率の目標値である50%と比較すると、低くなっている。また、近年では、運動器の障害によって要支援・要介護となる人の割合が多くなっている。</p> <p>ストレスの多い現代社会では、誰もがこころの病気に陥る可能性があり、厚生労働省が行った調査では、15人に1人が生涯に一度はこころの病気になる可能性があるとして報告されている。</p> <p>行政費用では、給与関係費が46.1%を占め、次いで物件費が41.8%、賞与・退職給与引当金繰入額8.6%、補助費等1.9%、減価償却費1.6%となっている。</p>
課題	<p>糖尿病は自覚症状を感じにくいいため、健康診断で異常があっても放置して重症化してしまうケースが多く、早期に医療機関で受診してもらうための取組が必要である。</p> <p>運動器の障害であるロコモティブシンドロームは、運動不足や栄養不足による筋肉や骨の衰えが主な要因となっており、若い時からの正しい生活スタイルの確立が求められている。</p> <p>がん検診を受けない理由として、約4割の人が「がんであると分かると怖いから」と回答している。がんは検診による早期発見が可能であり、早期であれば治癒率も高く経済的な負担も軽減される。また、生活習慣の改善により予防も可能であり、がん予防知識の普及啓発とがん検診受診率向上のための取組が必要である。</p> <p>身体とこころの健康は密接に関係しており、「身体とこころの健康」に加え、「こころの健康」という視点からも健康づくりを進めていくことが求められている。</p>
今後の方向性	<p>全ての区民が健康を実感できるまちを目指し、特に「健康寿命の延伸」と「早世の減少」のための取組を重点的に進めていく。</p> <p>健康寿命を延伸するための取組としては、全ての生活習慣病につながると言われている糖尿病対策と併せて、要支援・要介護要因の1位となっているロコモ対策に取り組む。青壮年期からの運動習慣と正しい生活習慣についての普及啓発を進めるとともに、医療機関等と連携した予防から治療まで一貫した対策を進める。</p> <p>早世を減らすための取組としては、がんを予防する生活習慣や、がんになり患った際の生活や治療についての正しい知識の普及啓発を進めるとともに、がんの早期発見のための積極的な受診の勧奨を行う。がんにより要介護となる人が多いため、健康寿命延伸のための取組でもある。</p> <p>こころの健康については、正しい知識や対処方法を普及啓発し、医療機関や相談機関で早い段階で支援が受けられるよう、専門医による精神保健相談や保健師による相談を充実させる。また、心身共に健康であるために「バランスのとれた食生活」、「十分な睡眠」、「適度な運動」の重要性について普及啓発を進める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民の幸せの基盤となる健康を保持、増進することは区の重要課題であり、来るべき本格的な少子・高齢社会に向け、医療費等の社会的コストを適正な水準に保つためにも欠かせない施策であることから、当該施策の優先度は極めて高い。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
保健師地区活動	09-02-01	155	171	推進	推進	地域への訪問活動を通して地域特性を把握し、区民との協働や関係機関との連携により健康の保持・増進を進めるために欠かせない活動であり、優先度の高い事業である。
健康づくり支援事業	09-02-02	2,017	2,087	重点的に推進	重点的に推進	早世予防と健康寿命の延伸(介護予防)という重要課題を解決するための事業であり、優先度の高い事業である。
あらかわ満点メニュー	09-02-03	7,354	7,223	推進	推進	健康づくりを支援する区内の食環境整備として優先度の高い事業である。
受動喫煙防止・禁煙対策	09-02-04	1,701	1,595	推進	推進	本事業により、がん予防や生活習慣病予防を図ることができ、早世予防や健康寿命の延伸(介護予防)の効果が期待できる。
健康づくり普及啓発・環境整備事業	09-02-05	2,012	1,635	推進	推進	早世予防と健康寿命の延伸(介護予防)に関する具体的で正しい健康知識を得ることは、区民の主体的な健康行動への基盤となるものであり重要である。
女性の健康応援事業	09-02-06	4,241	3,902	重点的に推進	重点的に推進	ロコモティブシンドローム予防など、女性のQOL(生活の質)の向上と早世予防を目的としており、女性の健康は子どもと家族の健康にもつながることから優先度の高い事業である。
栄養相談活動	09-02-09	134	137	推進	推進	健康づくりを推進するため、食生活改善の方法を具体的に示す栄養相談活動は重要な事業である。
成人歯科健康診査	09-02-10	4,486	4,547	継続	継続	歯周病の予防と早期発見のための検診は区民の歯の健康のために、重要な事業である。
糖尿病対策推進事業	09-02-11	1,320	1,292	重点的に推進	重点的に推進	糖尿病の発症予防や重症化予防を普及啓発し、重症化予防のシステムを推進していくことは、区民の生活の質の維持・向上及び医療費や介護給付費の抑制の観点から優先度が高い事業である。
特定給食施設講習会	09-02-26	58	58	継続	継続	給食施設の管理栄養士、栄養士が対象者の栄養管理や給食運営に必要な知識を習得することは、区民の健康につながり、必要な事業である。
無保険者等の健康診査	09-03-10	25,914	24,928	継続	継続	区民の健康保持と生活習慣病予防を進めるための事業であり、優先度が高い。

肝炎ウイルス検診	09-03-11	6,989	4,275	継続	継続	肝炎ウイルスに感染している者を早期発見し、治療につなげる重要な事業である。
35～39歳健診	09-03-12	3,804	4,462	重点的に推進	重点的に推進	本事業を機会に生活習慣を見直し改善することで、その後のメタボリック症候群やうつ病の発症の予防、早世予防、健康寿命の延伸（介護予防）を図ることができ、優先度が高い事業である。
受託健診	09-03-13	3,319	3,379	改善・見直し	改善・見直し	民間の医療機関等での受診が困難な障がい者通所施設の通所者等を中心とした健診として、改善・見直しを引き続き検討する。
がん検診費	09-03-14	239,942	184,515	重点的に推進	重点的に推進	がん予防とがんの早期発見により区民の健康づくりを推進するため優先度の高い事業である。
胃がんリスク検査（ABC検診）	09-03-15	15,742	13,889	推進	推進	ピロリ菌に感染している者を早期発見し、胃がんによる早世予防のための胃がん検診受診のより一層の促進を促す。
合計		319,188	258,095			